

2017年度 事業報告

自 2017年4月1日
至 2018年3月31日

一般社団法人放送サービス高度化推進協会

I. はじめに

2017年度は、2018年12月の新4K8K衛星放送開始に向け、多方面の準備を開始すると同時に、2017年度～2018年度を一体として、放送開始に向けた本格的な周知広報を展開する年となった。

2016年12月1日からA-PABが放送を開始したBSによる4K・8K試験放送では、参加各社のご協力により様々なコンテンツの放送による効果を検証し、4K・8K放送の周知を図ると同時に、受信機器開発の一助となったが、中でも2017年8月の甲子園高校野球生中継やHDR番組の検証等、数々の4K8K番組制作の先駆的な試みが行われた。

110度CSによる左旋試験放送は2017年4月1日に1日6時間の放送を開始し、左旋受信設備整備に資する場となった。

周知広報面では、A-PABは総務省の「4K・8K放送推進連絡協議会」（2017年4月発足）において、新4K8K衛星放送普及推進の中核組織に位置づけられた。

これを受け、2017年12月1日には「新4K8K衛星放送開始一年前セレモニー」を実施し、2018年12月の放送開始をアピールすると同時に、推進キャラクター：深田恭子さんの任命、「4K8Kコールセンター」の開始、「新4K8K衛星放送」名称・総合ロゴの公表などを行った。

受信機開発では規格化の推進を継続すると共に、2016年度に続いて国のテストセンター事業を受託し、帯域再編の具体化とフェイズ1の実施、2018年度初頭のフェイズ2に結び付けた。

更に、国の「中間周波数電波漏洩対策事業」を受託し新4K8K衛星放送コールセンターの開設、技術講習会の実施等を行い着実に新4K8K衛星放送受信の浸透を図ったほか、2018年度以降に関しては国の「衛星放送用受信環境整備事業」（中間周波数漏洩対策事業費補助事業）の応募に向けた準備を進めた。

BS・110度CSのみならず、放送界全体の高度化に向けた様々な試みに対しては、2年目に入ったワークショップの実施、4K番組制作奨励制度の設置などの形で、A-PABとして積極的な支援を行うことができた。

また従来から行ってきた地上・BSの2K放送の技術規格のメンテナンス、4K・8Kとの整合、ES等に於ける2K・4K・8Kの在り方等についても継続的な対応を行っている。

一方、NextTV・FとDpaの統合から2年を経て、A-PABの業務実施体制や経費の在り方を見直すために運営委員会正副委員長と事務局からなる「基本課題検討部会」を組織し、2018年度の一般会費の見直し、会員資格の見直し等を提起、2018年度に結び付けた。

また、総務省「放送コンテンツの製作・流通の促進等に関する検討委員会」、「放送を

巡る諸課題に関する検討会」及びこれらの関連座組等に参加し、将来の放送・関連サービスに関する情報の収集、会員への情報還元を行ってきた。

以下、2017年度事業計画に沿う形で事業報告を行う。

Ⅱ. 2017年度の事業報告

(1) 放送サービスの高度化（新4K8K衛星放送等）／地上・衛星デジタル放送にかかわる技術仕様の検討、検証、評価等

① 【新4K8K衛星放送運用規定のメンテナンス】

- ・本年度は、新4K8K衛星放送（高度広帯域衛星デジタル放送）の技術仕様である運用規定ARIB（電波産業会）TR-B39のメンテナンスとして、第1.6版までの改定作業を行った。

② 【地上・衛星デジタル放送運用規定のメンテナンス】

- ・本年度は、地上デジタルテレビジョン放送およびBS／広帯域CSデジタル放送の技術仕様である運用規定ARIB TR-B14およびARIB TR-B15のメンテナンスとして、第6.3版および第7.5版までの改定作業を行った。

③ 【放送事業者、メーカー等への協力】

- ・新4K8K衛星放送にかかわる技術的協力として、受信機メーカーに対しては、新放送に係るテストストリームの第1次頒布を開始し受信機開発、製造の環境整備に協力した。一方、放送事業者に対しては、「新4K8K衛星放送事業者運用検討会議」を設置して放送開始に向けた運用に関する環境整備に協力した。
また、新4K8K衛星放送の前提となるBS右旋帯域再編についても作業部会を通じて、受信機メーカー、放送事業者に対する協力を行った。

④ 【地上テレビジョン放送の高度化にかかわる調査・研究】

- ・地上デジタルテレビジョン放送の高度化に関して、各方面で行われた技術検証や最新動向を把握し情報収集を行った。

(2) 放送サービスの高度化にかかわる技術仕様の実用化に向けた実証および所要の期間の試行的な放送等

① 【BSによる4K・8K試験放送の実施】

- ・2016年12月1日から開始したBSによる4K・8K試験放送では、NHKおよびBSATから借用した放送設備により、会員社から提供された番組を送出し

た。ドキュメンタリー・紀行からバラエティ・ドラマに亘る幅広いジャンルの番組を編成し、4K・8K画質と多様な音声モードで放送した。また、会員社向けには甲子園球場からの4KHDRでの高校野球生中継や4KHDRロケ撮影番組の画質評価の視聴会を開催し、2018年12月からの本放送の開始に向けた4K・8K番組の制作・運用・送出に資する試験・検証等を行って、当初予定していた技術的検証が概ね達成できた。2017年5月と10月には番組審議会を開催し、放送実績や検証状況を報告するとともに、席上で4K番組を視聴して意見交換するなど、4K・8K番組の制作・編成に関して活発な議論を行った。

② 【東経110度CS左旋による4K試験放送への対応】

- ・2017年1月24日、総務省より業務認定を受け、中間周波数帯（IF）の一番高い「3224MHz」の周波数で同年4月1日午前11時より110度CSによる我が国初の左旋円偏波による4K試験放送を開始した。スカパーJSATの放送設備を借用し、同社から提供された4K番組をベースに、番組審議会によって承認された当協会の独自の編集基準に基づき、1日6時間の放送を行っている。
- ・4月6日には報道関係者向けに開局説明会を開催し、60名以上の関係者が出席、左旋試験放送の目的と概要を周知した。また、左旋試験放送で使用する番組に関わる各権利者団体への説明・調整を行い、無償許諾を得た。
- ・左旋試験放送特別委員会では左旋準備WGとも連携し、同放送を受信・伝送システムの試験、検証に活用するとともに、2018年12月1日の本放送の開始に向けて、新4K8K衛星放送の受信環境構築の後押しを進めている。

③ 【新4K8K衛星放送のテストセンター業務への対応】

- ・本年度は、国のテストセンター業務の受託事業として、以下の項目に沿って活動した。
 - (a) BSデジタル放送（右旋円偏波）の周波数再編検討（実設備を用いた総合的な検証作業）
 - (b) BS・110度CS左旋共用試験に資する次世代映像圧縮技術を用いた映像および音声信号による新4K8K衛星放送受信機試験環境の仕様の策定と評価（マルチメディアコンテンツ等を含む新4K8K衛星放送テストストリームの作成）

(3) 放送サービスの高度化／地上・衛星デジタル放送にかかわる開発、普及、利用促進、周知広報

① 【放送サービスの高度化の理解および普及促進を目的とした情報の発信】

4K8Kの試験放送も順調に推移し、2018年12月の新4K8K衛星放送開始が視野に入った。また総務省「放送を巡る諸課題に関する検討会」の「視聴環境分科

会」においても当協会が同放送の周知広報に関する中核に位置付けられたことを踏まえ、以下の業務を行った。

- ・新4K8K衛星放送に関する視聴者の誤解や混乱を防ぐと同時に視聴者の期待感を醸成するために、リーフレット、ポスターを約75万部、4K番組の店頭プロモーション用としてUHDブルーレイディスク1万枚を制作し、量販店・全国家電店に配送し活用いただいている。
- ・「高度広帯域衛星デジタル放送」の名称を「新4K8K衛星放送」と定めるとともに、総合ロゴを制作し、周知広報のシンボルとして関係諸機関・団体での活用を進めた。
- ・12月1日に総務大臣出席のもと「新4K8K衛星放送開始1年前セレモニー」を都内ホテルにて開催しメディアを通じて広く周知に努めた。また同式典で、女優深田恭子さんを4K8K推進キャラクターに任命し、プロモーションの“顔”としてPR動画、PRポスターを制作、全国電気店等に送付、活用いただいている。
- ・10月のCEATEC、11月のInterBEEにNHK・JEITA協力のもと新4K8K衛星放送周知のため出展した。また12月より全国の総務省総合通信局と連携をとりながら全国のイベント（15か所程度想定）に出展し、来場者に直接受信した試験放送を実体験していただく「4K放送視聴体験」ブースの運営を開始した。
- ・A-PABホームページでは既に開始されている4Kサービス等をはじめとする最新情報とともに「どうしたら見られるのか」、「よくある質問」などを分かりやすく伝えた。
- ・視聴者の認識、普及への課題を把握するため、前年度に引き続き2017年7月、2018年2月の2回にわたり市場調査を実施した。結果を分析し、課題解決のために有効活用した。
- ・帯域再編に関係する事業者と連携しながら、基本情報・注意事項などを視聴者に丁寧に周知すべく準備を行った。

② 【新4K8K衛星放送の受信環境整備の推進】

- ・総務省から受託した「衛星放送用受信設備からの電波の漏洩等に関する周知啓発活動」において、電気店や電気工事店を中心に電波漏洩に関する技術講習会を実施した。全国各地301か所で開催、1万2千人以上の参加があり所定の目標を達成した。
- ・上記の受託事業において「新4K8K衛星放送コールセンター」も開設し、12月1日からスタートさせた。新4K8K衛星放送対応の受信設備はどうすれば良いのか？受信機の価格は？発売時期は？など、4か月間で489件の相談に対応した。
- ・新4K8K衛星放送の受信環境・左旋受信システムの構築のため、テレビ受信向上委員会と連携して、全国各地でのセミナーにA-PAB講師として参加。BS・左旋4K試験放送のPR、認定放送事業者、電波漏洩対策などの知識浸透に努めた。
- ・「左旋試験放送特別委員会」「左旋準備WG」と連携し、A-PAB会員のアンテナメーカーの協力のもと、(一社)マンション管理業協会に加盟のマンション管理会社へ新4K8K衛星放送対応の受信設備改修など、新4K8K衛星放送の普及と左旋受信環境整備に向けた活動を強力に推進した。

③ 【地上・衛星の2K放送サービスへの対応】

- ・エリア情報、ワンセグに関する情報発信を継続し、各種問い合わせに対応した。
- ・2KBS放送の更なる普及促進等の対応を継続実施した。

(4) 新たな放送技術を用いたコンテンツの制作環境の高度化と浸透に向けた業務

【「4K・8K」コンテンツ制作成果の共有等】

- ・前年度に続き「A-PAB 4K8K制作ワークショップ2018」を2018年1月25日・26日、大阪にて開催した。講演9社、機器展示11社の協力をいただき、4KHDR映像7作品の上映も含め、実施した。来場者は2日間で350名を超え、コンテンツ制作について、ノウハウや課題を共有できる機会となった。
- ・4K8K番組の制作経験の少ない会員社に向けて「4K8K番組制作奨励制度」を立ち上げた。応募28企画の中から7企画を採択し、4K8K番組制作の裾野拡大に寄与した。今後2018年11月に7企画が番組化される予定。

(5) BS放送のエンジニアリングストリームの衛星基幹放送業務ならびに地上テレビジョン放送のエンジニアリングサービスの運用および関係事業者等との連絡、調整、契約にかかわる業務

① 【システムの安定運用継続と低コスト化の追求】

- ・特別委員会および業務委託事業者との連携により、信頼性の高いエンジニアリングサービス（以下、ES）システム運用（地上、BS2K）を継続した。
- ・10月にES利用目的外の事例が発生したことを踏まえて、ES利用目的に沿った運用を徹底するため、ES利用約款を改定し、ESユーザーに周知した。
- ・ES利用率の低下傾向を踏まえた低コスト運用に対応するため、地上ESの設備更新において帳票電子化システムを廃止する方針とした。

② 【4K・8KでのES利用の検討】

- ・新4K8K衛星放送の本放送に向けてES利用の検討を進めてきたが、独立した形でシステム構築することはコスト面で実用的とは言えず、現行の2KのBSES上で運用していくこととした。なお、今回見送った全受信機共通データの運用については、新4K8K衛星放送の普及状況を見ながら検討することとした。

(6) 地上テレビジョン放送番組の著作権保護に関する関係事業者等との連絡、調整、契約にかかわる業務

【現行RMPに関する円滑・安定的なシステム運用】

① RMP特別委員会

- ・RMP特別委員会を4回開催し、コピー制御方式利用に関する、年度事業計画・予算・決算などの重要事項の検討・審議を行った。
- ・また、下位組織「放送コンテンツ適正流通推進連絡会」「汎用ルート証明書作業班」の活動を支援し、放送事業者のコンテンツ保護業務や双方向サービス業務等の円滑・安定的な運用を推進した。

② 放送コンテンツ違法流通対策業務

- ・「放送コンテンツ適正流通推進連絡会」を4回開催し、ユーチューブやインターネットオークションでの違法なコンテンツを監視し削除に向けた情報提供を行った。
- ・A-PABホームページに、各放送事業者が、違法動画削除要請作業を自ら迅速かつ効率的に実施できる「とりし丸」のコーナーを開設し、周知広報に努めた。この結果、「とりし丸」を運用する放送事業者は14社増え、96社となった。
- ・民放連が啓発する「違法配信撲滅キャンペーン」を応援し、放送コンテンツ流通環境の健全化を推進した。

③ 双方向サービス運用支援

- ・デジタル放送において、双方向サービスをセキュアに行うために不可欠な汎用ルート証明書の円滑な運用のため、「汎用ルート証明書作業班」の協力のもと、関係機関及び各放送事業者との調整及び情報共有などの支援を行った。

④ コピー制御お問合せセンターの運営、コンテンツ保護施策の周知広報

- ・B-CAS方式によるコンテンツ保護施策に関する視聴者対応の窓口として、「コピー制御お問合せセンター」を運営し、視聴者、電気店や放送事業者からのコンテンツ保護に関する問い合わせに対応した。

(7) 4K・8K等の技術基盤を用いた、新たな産業・文化の創成への貢献にかかわる業務

① 【新技術基盤の利活用促進】

- ・関係各団体との情報交換のほか、会員社が実施した技術展示会など機会を捉え、技術情報交換などを行った。

② 【公的実証事業などへの協力、貢献】

- ・総務省の4K・8Kにかかわる実証事業等に関する会員間の情報共有を図ると共に、平成30年度総務省事業「4K・8K衛星放送に係る高度なサービスの実現に向けた技術の実証（仮）」に向けた準備を行った。

(8) その他、本協会の目的を達成するために必要な業務

【会員向けサービスの充実、情報発信の強化】

会員サービス推進事務局としては、本年度も「講演会」と「ホットラインニュース」を軸に、会員への情報提供活動を行った。

- ・会員が関心の高い13テーマ/6回の「講演会」を行い、年間累計1,620名(270名/回)の方々にご聴講を頂いた
- ・「ホットラインニュース」では、会員約2,400アドレス(約200のM/Lを含む)の方々を対象に、年間47回の発行を行い、当該週の「A-PABの活動状況報告」「業界関連注目記事のご紹介」など情報共有/提供した。

Ⅲ. 会員の状況及び協会の運営

1. 会員の状況

区分	2017年4月1日	2018年3月31日
正会員	257社（団体）	259社（団体）
賛助会員	34社（団体）	34社（団体）
合計	291社（団体）	293社（団体）

2. 協会の運営

開催された公式会議は以下の通り。

区分	回数	開催日	議案
総会	第2回	2017年 6月21日	第1号議案 役員を選任について 第2号議案 任期満了に伴う会計監査人の選任について 報告事項1 2016年度事業報告及び決算報告について 報告事項2 平成28年度公益目的支出計画実施報告書について
	臨時	2018年 3月28日	第1号議案 定款の運用及び会費等に関する規程の一部変更について 報告事項1 2018年度事業計画及び収支予算について
理事会	第3回	2017年 5月27日	第1号議案 2016年度事業報告及び決算報告について 第2号議案 平成28年度公益目的支出計画実施報告書について 第3号議案 役員を選任について 第4号議案 任期満了に伴う会計監査人の選任について 第5号議案 第2回総会の開催について 第6号議案 委員会委員の選任について
	第4回	2018年 2月28日	第1号議案 2018年度事業計画及び収支予算について 第2号議案 定款の運用及び会費等に関する規程の一部変更について 第3号議案 年度内会費取扱基準について 第4号議案 エンジニアリングサービス利用約款の改定について 第5号議案 エンジニアリングサービスのメンバー及び特別会費等に関する規程の一部変更について 第6号議案 臨時総会の開催について
運営委員会	第12回	2017年 4月18日	◆2017年度運営委員会委員長、副委員長の選出について 案件1 第2回4K・8K市場調査の結果について 案件2 4K・8K周知広報動画試写 案件3 総務省「放送を巡る諸課題に関する検討会」関連に

区分	回数	開催日	議案
			案件 4 ついて 委員会委員の選任について
	第 13 回	2017 年 5 月 16 日	案件 1 2016 年度事業報告及び決算報告について 案件 2 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書について 案件 3 第 3 回理事会及び第 2 回総会の開催について 案件 4 放送コンテンツ検討委員会について 案件 5 委員会委員の選任等について
	第 14 回	2017 年 6 月 20 日	案件 1 2017 - 2018 年度周知広報計画について 案件 2 総務省の電波漏洩等に関する周知啓発活動の入札について 案件 3 「基本課題検討部会」の設置について 案件 4 総務省「放送を巡る諸課題に関する検討会」関連について 案件 5 委員会委員の選任について
	第 15 回	2017 年 7 月 18 日	◆運営委員長・副委員長の選出について 案件 1 「4K・8K 放送番組制作奨励制度」について 案件 2 「テストセンター事業（技術試験事務）」への応募について 案件 3 「4K8K 推進センター」の設置について 案件 4 委員会委員の選任について
	第 16 回	2017 年 9 月 19 日	案件 1 「4K・8K 放送推進連絡協議会」報告並びに「4K・8K 放送に関する周知広報計画（アクションプラン）素案」について 案件 2 サービス名称・ロゴの取り進めについて 案件 3 委員会委員の選任について
	第 17 回	2017 年 10 月 17 日	案件 1 4K・8K 放送番組制作奨励制度について 案件 2 第 3 回 A-PAB 4K・8K 市場調査結果報告 案件 3 放送コンテンツ検討委員会について 案件 4 委員会委員の選任について
	第 18 回	2017 年 11 月 21 日	案件 1 12 月 1 日放送開始 1 年前セレモニーについて 案件 2 基本課題検討部会中間報告 案件 3 4K8K 制作ワークショップ 2018 の開催について 案件 4 電波漏洩に関する技術講習会について 案件 5 4K 放送視聴体験のイベント展開について 案件 6 「4K・8K 放送推進連絡協議会」について
	第 19 回	2017 年 12 月 19 日	案件 1 「新 4K8K 衛星放送開始 1 年前セレモニー」報道関係報告 案件 2 総務大臣、深田 4K8K 推進キャラクターの動画、ポスターの進捗報告 案件 3 4K8K 制作ワークショップ 2018 の準備状況について 案件 4 電波漏洩に関する技術講習会の実施状況について 案件 5 店頭 POP による周知広報の推進報告 案件 6 委員会委員の選任について
	第 20 回	2018 年 1 月 16 日	案件 1 2018 年度事業計画・収支予算の考え方について 案件 2 4K8K 制作ワークショップ 2018 について

区分	回数	開催日	議案
			案件 3 4K8K 推進キャラクターの活用について 案件 4 平成 30 年度総務省電波漏洩対策補助事業への応募について
	第 21 回	2018 年 2 月 20 日	案件 1 2018 年度事業計画及び収支予算について 案件 2 「定款の運用及び会費等に関する規程」の一部変更等について 案件 3 ES の「利用約款」等の改定について～法令遵守の記載追加と明確化～ 案件 4 PR 動画・ポスターの活用及び費用について 案件 5 総務省「中間周波数漏洩対策事業費補助事業」への応募と委託事業者の先行公募について 案件 6 4K 番組制作奨励制度の採択結果について 案件 7 4K8K 制作ワークショップ 2018 の実施結果について 案件 8 総務省「周波数有効活用に関する検討分科会」について 案件 9 第 4 回理事会及び臨時総会の開催について
	第 22 回	2018 年 3 月 20 日	案件 1 BS 右旋帯域再編（トラポン移動）の実施と周知計画について 案件 2 総務省事業「4K・8K 衛星放送に係る高度なサービス実現に向けた技術の検証」への準備 案件 3 4K8K 機能ロゴの扱いについて 案件 4 総務省「中間周波数漏洩対策事業費補助事業」の委託業者の決定について 案件 5 総務省「第 4 回 4K・8K 放送推進連絡協議会」報告 案件 6 総務省「衛星放送の未来像に関する WG」について 案件 7 委員会委員の選任について

- ※ 上記の他、理事会承認を要する運営委員会、ES 特別委員会、RMP 特別委員会の各委員会の委員交代、会員の入会、その他の案件審議のため、書面による理事会を計 8 回開催した。
- ※ 2017 年度事業報告については、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する付属明細書は作成しない。